

パリでの同時多発テロ、ロンドンもテロの脅威で警戒強化

世界を震撼させた金曜日夜のパリでの同時多発テロは、英国政府のテロ警戒レベルも5段階の3段階に引き上げられました。早速、英国の空港や国際列車が発着するロンドンのST.パンクラス駅、ショッピングモール、公共施設等での武装警官による警戒が始まりました。



パリやブラッセル行きの国際列車が発着する ST.パンクラス駅を警戒する武装警官(Web より)



テロ犠牲者への冥福とフランスへの連帯を表現する世界各地のランドマーク (Web より)

英国政府の懸念はシリアから英国に戻ったと思われる 450 人ものイスラム系英国人の動向で、特殊警察隊や覆面武装警官を配置して監視を続けています。スコットランドヤード（ロンドン警視庁）は現在シリアとイラクに関連した 600 件の小さなテロ事件を調査していることも明らかにしています。脅威は何と言っても、イスラム国家に行きたくて行けなかったイスラム系英国人テロリスト予備軍が、戻ってきたイスラム系英国人ので指示でロンドン等でテロ行為を実行するのではないかと言うもので、緊張感が高まっています。日本も増え続ける海外からの旅行者に混じってのテロリストの入国を水際でいかに阻止するか、また既に入国しているかもしれないテロ予備軍の監視も課題ですね。（了）